

東亜ペイント製造株式会社昇給辞令概要

- 1: 文書群番号 091024
- 2: 文書群名 東亜ペイント製造株式会社昇給辞令
- 3: 出所 菅原小一郎氏
- 4: 家業・役職等 東亜ペイント社員
- 5: 地名 大阪府西成郡稗島村
- 6: 行政区分 大阪府西成郡稗島村
- 7: 歴史 菅原小一郎氏については未詳。
第一次世界大戦の影響で国内諸産業が好況を呈する中、塗料工業界では新興メーカーの設立が相次いだ。東亜ペイント製造株式会社はそうしたメーカーの一つとして、船具商であった尾張屋飯田連庫によって大正4年（1915）に設立された。本社・工場は大阪府西成郡稗島村字赤須の日本窒素株式会社の廃止工場に置かれた。大戦後経営困難に陥り倒産、大正8年（1919）古河鋳業株式会社に経営が継承された（同9年からは新たに設立された古河電気工業株式会社に移管）。昭和24年（1949）、東亜ペイント株式会社に改称し、今日に至る。
- 8: 伝来 平成4年（1992）1月24日寄贈、同日受入手続き。平成14年8月から9月にかけて、整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 横山澄男氏
- 10: 点数 15点（目録件数15件）
- 11: 年代 大正9年（1920）～昭和13年（1938）
- 12: 構造と内容 本文書群は大正9年（1920）から昭和13年（1938）にかけて、東亜ペイント製造(株)社員の菅原小一郎に対して発令された昇給辞令13点から成る。菅原の肩書きは昭和8年までが社員、それ以降は職員となっている。大正9年の時点で48円であった菅原の月給は、ほぼ毎年5円から14円上昇して昭和13年には134円に到達しており、この期間を通じて比較的高給を得ていることがわかる。
- 13: 関連史料 関西ペイント営業概況大正10年～昭和10年記事抜き書き、大日本麦酒ほか会社辞令
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 島田克彦

本概要は、史料整理担当者森下徹氏の整理結果報告をもとに三浦寿代が作成しました。